

公立病院改革プランの概要

団 体 名		広島県府中市					
プ ラ ン の 名 称		府中市立府中北市民病院改革プラン					
策 定 日		平成 21年 2月 26日					
対 象 期 間		平成 21年度 ～ 平成 23年度					
病院の現状	病 院 名	府中市立府中北市民病院					
	所 在 地	広島県府中市上下町上下2100					
	病 床 数	110 (一般病床60床、療養病床50床(医療療養30床、介護療養20床))					
	診 療 科 目	内科、外科、産婦人科、整形外科、小児科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>○現在当院は、地域で唯一の病院として過疎地域における一般医療を提供し、健診、予防接種や学校医など保健衛生に関する行政を担っている。また、救急告知医療機関として内科・外科・整形外科の3診療科オンコール体制で、24時間365日の救急医療を確保している。</p> <p>○今後も上下地区に必要な救急医療、一般医療を確保するとともに、保健・福祉・介護と連携を密にし地域包括医療を実践している。</p> <p>○医師卒後臨床研修病院として地域医療の教育を担当している他、広島大学医学部学生の臨床実習に積極的に取り組み、将来の医師確保のために地域医療の素晴らしさを体験させている。看護学生、薬学部学生、リハビリ科学生の実習も積極的に受け入れている。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>○救急医療、保健衛生に要する経費</p> <p>○企業債償還金利子に要する経費</p> <p>○共済追加費用に要する経費</p> <p>○研究研修費に要する経費</p> <p>○建設改良に要する経費</p> <p>○企業債償還金元金に要する経費</p> <p>○不採算地区の病院運営に要する経費</p> <p>○運営費補助金は退職金及び病院建築に係る企業債利子、減価償却費の不足額</p>					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率(%)	98.0	92.5	96.0	95.9	97.0	平成24黒字化
	給与費比率(%)対医業	59.6	63.4	62.2	62.2	61.3	退職給与除く
	病床利用率(%)	89.0	88.1	77.3	77.3	72.7	
	医業収支比率	94.2	88.6	93.4	95.2	91.2	
	他会計繰入金対医業収支比率	11.6	10.7	12.6	12.6	11.3	
	患者1人あたりの診療収入(入院)	20,746	21,806	21,924	21,924	25,380	単位:円
	患者1人あたりの診療収入(外来)	6,696	6,294	6,777	6,777	6,777	単位:円
	職員1人あたりの診療収入(医師)	317,077	289,824	277,988	277,988	293,987	単位:円
	職員1人あたりの診療収入(看護)	44,421	43,122	38,147	38,147	40,342	単位:円
上記目標数値設定の考え方	<p>計画初年度の平成21年度において、収益見込みを精査し、それに対応した費用を計上、さらに費用の削減を徹底的に検討した。計画期間中は、企業債償還の財源となる内部留保資金を確保できる数値目標とした。</p> <p>任意項目は、医療提供の内容を反映し、患者単価に直接結びつく指標を選択した。</p> <p>(経常黒字化の目標年度:平成24年度)</p>						

				団体名 (病院名)	府中市 (府中市立府中北市民病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
	年延手術件数	146	108	108	108	単位:件	
	年延入院患者数	36,733	35,730	31,025	31,025	単位:人	
	年延外来患者数	61,615	60,600	54,934	54,934	単位:人	
	救急車による年間患者数	187	200	200	200	単位:人	
	時間外診療年間患者数	1,562	1,500	1,500	1,500	単位:人	
数値目標達成に向けての 具体的な取組及び実施時期 に 係る計画	民間的経営手法の導入	○外来投薬の院外処方化。(平成18年度中途から導入済)					
	事業規模・形態の見直し	○110床(一般病床60床、療養病床50床)から、85床(一般病床52床、療養病床33床)とする方向で協議中。さらに平成24年度の介護療養病床廃止に伴い、必要病床数を検討中。 ○健全化計画における療養病床の転換に伴う老人保健施設の併設については、新たな投資を必要とするため設置しない。					
	経費削減・抑制対策	○病床数の減少による看護師、看護助手の適正配置。(平成21年度 3,500万円の削減) ○事務用消耗品費の削減。(平成21年度 125万円の削減) ○賃借料(駐車場、医療機器など)の見直し。(平成21年度 400万円の削減) ○委託業務(車両運転業務の一本化)の見直し。(平成21年度 180万円の削減) ○委託料(医療機器等の保守料など)の見直し(平成21年度 360万円の削減)					
	収入増加・確保対策	○未収金管理の徹底。 ○健診事業の推進。(一般健診、特定健診、人間ドック)					
	その他	○オーダリングシステムの導入による、事務の効率化。(平成20年度導入)					
	各年度の収支計画	別紙のとおり					
その他の 特記事項	病床利用率の状況	17年度	90.1%	18年度	89.8%	19年度	89.0%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	平成23年度末までに、病床利用率、看護職員体制、介護療養病床廃止に対応する病床数に移行する。					

団体名 (病院名)	府中市 (府中市立府中北市民病院)
--------------	----------------------

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	二次医療圏は福山・府中医療圏であるが、市内北部の府中北市民病院が所在する府中地区医療圏(府中市、神石高原町、福山市新市町)には、県立病院から町立病院に移管される「神石三和病院」(一般47床、療養48床)があり、運営は医療法人の指定管理になる。府中市内には、市内中心部に公的病院の「JA府中総合病院」(一般145床、療養54床二次救急医療機関)がある。	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	広島県保健医療計画においては、当医療圏の再編・ネットワーク化に係る計画は示されていない。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 平成21年度末 平成22年度 平成23年度	<内容> 府中地域医療計画の策定 ・府中地域全体としての医療機能を維持する方向性を示す ・府中北市民病院の役割と位置づけを明確化する 府中地域医療計画に基づき、実行可能なものから着手 再編・ネットワーク化の結論を取りまとめる ※府中地域医療計画は、府中市健康地域づくり審議会で検討、協議し、進捗状況を報告、審議する。
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に☑を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	行政内部の「病院事業管理委員会」で、進捗状況を管理。府中市健康地域づくり審議会の「市立病院経営審査分科会」で、その進捗状況を審議。府中市健康地域づくり審議会へ、分科会の審議内容を報告。	
点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	府中市健康地域づくり審議会は、年2回開催。(中間、年度末)		
その他特記事項	この改革プランは、企業債償還の財源を確保するための財政健全化計画であるが、地域医療確保のための改革プラン協議を継続し、3年間の計画期間中であっても再編・ネットワーク化、経営形態見直しの結論がまとまり次第、着手する。		

(別紙)

団体名 (病院名)	府中市 (府中市立府中北市民病院)
--------------	----------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	1,520	1,340	1,246	1,200	1,200	1,260
	(1) 料 金 収 入	1,343	1,159	1,067	1,025	1,025	1,113
	(2) そ の 他	177	181	179	175	175	147
	うち他会計負担金	49	52	52	89	89	89
	2. 医 業 外 収 益	167	166	124	97	72	138
	(1) 他会計負担金・補助金	150	128	114	72	71	69
	(2) 国 (県) 補 助 金	1	1	1	1	1	1
	(3) そ の 他	16	37	9	24	0	68
	経 常 収 益 (A)	1,687	1,506	1,370	1,297	1,272	1,398
	入	1. 医 業 費 用 b	1,575	1,422	1,404	1,284	1,268
(1) 職 員 給 与 費 c		853	894	789	790	779	898
(2) 材 料 費		375	208	195	188	188	183
(3) 経 費		235	219	233	213	213	213
(4) 減 価 償 却 費		106	97	92	89	84	85
(5) そ の 他		6	4	95	4	4	3
2. 医 業 外 費 用		108	115	78	64	60	55
(1) 支 払 利 息		50	48	46	44	41	38
(2) そ の 他		58	67	32	20	19	17
経 常 費 用 (B)		1,683	1,537	1,482	1,348	1,328	1,437
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	4	▲ 31	▲ 112	▲ 51	▲ 56	▲ 39	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	4	▲ 31	▲ 112	▲ 51	▲ 56	▲ 39	
累 積 欠 損 金 (G)	▲ 499	▲ 530	▲ 642	▲ 693	▲ 749	▲ 788	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	443	496	499	512	530	496
	流 動 負 債 (イ)	68	76	105	79	55	123
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲ 375	▲ 420	▲ 394	▲ 433	▲ 475	▲ 373	
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)		▲ 45	26	▲ 39	▲ 42	102	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.24	97.98	92.44	96.22	95.78	97.29	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 24.67	▲ 31.34	▲ 31.62	▲ 36.08	▲ 39.58	▲ 29.60	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	96.51	94.23	88.75	93.46	94.64	91.17	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	56.12	66.72	63.32	65.83	64.92	71.27	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)							
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$							
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率							
病 床 利 用 率	89.8	89.0	88.6	77.3	77.3	72.7	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること
例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	府中市 (府中市立府中北市民病院)
--------------	----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 企業債	9	6	64	30	7	7
	2. 他会計出資金	65	69	67	69	77	78
	3. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	2	2	51	3	0	3
	7. その他	0	0	0	0	0	0
入	収入計 (a)	76	77	182	102	84	88
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	76	77	182	102	84	88
支	1. 建設改良費	9	8	115	35	10	10
	2. 企業債償還金	99	105	103	107	119	120
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
出	支出計 (B)	108	113	218	142	129	130
	差引不足額 (B)-(A) (C)	32	36	36	40	45	42
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	32	36	36	40	45	42
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
補てん財源	計 (D)	32	36	36	40	45	42
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	0
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(110,736)	(81,543)	(69,000)	(0)	(0)	(0)
	199,119	180,150	166,410	151,422	150,000	148,000
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	65,594	68,679	67,698	69,382	77,000	79,000
合計	(110,736)	(81,543)	(69,000)	(0)	(0)	(0)
	264,713	248,829	234,108	220,804	227,000	227,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。